

安芸市東川地区

地域農業の未来を考える集落座談会（１回目まとめ）

1. 実施日時：令和6年9月25日（水）14:00～15:45
2. 実施場所：安芸市立東川公民館2階ホール（安芸市入河内588番地）
3. 参加者：地域の担い手等（9名）
高知県安芸農業振興センター（2名）
安芸市農業委員会（1名）
安芸市農林課（1名）
計13名
4. テーマ：「東川地区が目指す農業の将来像」

5. 会議録（参加者からの意見）

①地域農業の現状及び課題

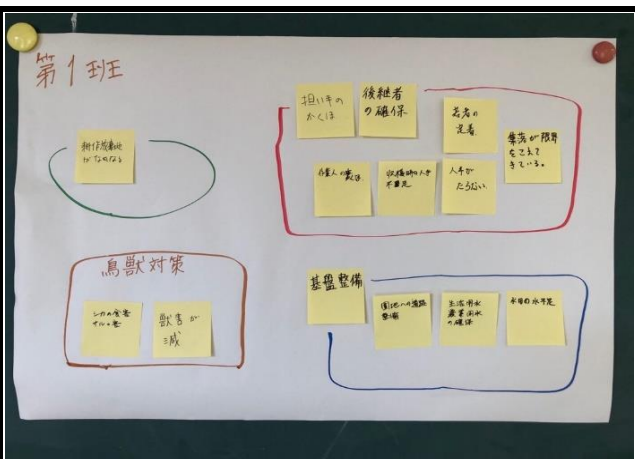
- ・シカやサルの鳥獣被害が年々深刻化している。
- ・地域住民が減少していろいろな面で集落が限界を迎えている。
- ・ユズ収穫時の労働力が不足している。
- ・園地までの道路整備が不十分。
- ・大井地区の人口は3人、通い農家が2人。全て60歳以上で遊休農地も拡大。
- ・高額な農業機械の更新に苦慮している。
- ・鳥獣被害を防止する防除ネットも更新時期にきている。
- ・入河内地区は他地区に比べても耕作放棄地が少ない。
- ・お茶加工場の設備は限界に近く、故障すればお茶栽培はやめざるを得ない。
- ・10年後には米農家がいなくなる。酒米の単価も上がらない。
- ・災害時に備えたインフラ整備が不十分。

②課題解決に向けた取組

- ・獣害対策の強化と処理施設の整備を検討する。
- ・耕作されない水田をユズに改植して作付面積を維持する。
- ・農地までの動線確保など、小規模な基盤整備を実施する。
- ・既存の農業法人や地区外の営農組織に農地の維持管理（草刈や消毒など）を担ってもらう。
- ・新たな担い手の移住対策としてブロードバンド整備を検討する。
- ・安全安心な就労環境と営農を継続していける体制づくりに取り組む。災害時の対策として旧小中学校校庭へのヘリポート整備を検討する。
- ・旧小中学校施設を活用し、移住者用住宅や観光客向けの宿泊施設を整備する。
- ・ユズ栽培を中心とした収入の安定化を図り、兼業も含めた農業の多様な担い手を確保する。

【座談会の様子】

《第1班》



テーマ 東川地区が目指す農業の将来像	
第1班	
No. こんな地域農業を実現したい!	実現するための方法
1 担い手の確保・育成	・安定した収入で若者の定着
2 鳥獣対策	・駆除した後の始末ができる施設
3 基盤整備	・小規模な整備



■班内で出された意見■

- ・シカやサルなどの鳥獣被害が多く、獣害対策の強化が必要。
- ・鳥獣駆除を強化するとともに、その後の始末までできる施設がほしい。
- ・住民が減って集落がいろいろな面で限界を迎えている。
- ・ユズ収穫時の人手が不足している。
- ・地域を維持するためには後継者の確保と若者の定着が必要。
- ・生活用水や農業用水を確保したい。
- ・園地までの道路整備が不十分。
- ・耕作されない水田をユズに改植して作付面積を維持する。
- ・安定した収入を確保して若い担い手を定着させる取組が重要。
- ・狭い農地が多いので小規模な基盤整備を実施する。
- ・大井地区では定住人口3人で通い農家が2人。全て60歳以上で耕作放棄地も拡大している。
- ・行政は国や県からの施策をそのまま地域へ下ろさず、地域の実情をしっかりと把握した上で住民のニーズに合った支援をするべき。

《第2班》



テーマ 東川地区が目指す農業の样像	
第2班	
No. こんな地域農業を実現したい!	実現するための方法
1 営農を継続したい田舎制5ツ	道・圃場の整備 獣害防護柵
2 担手の確保	兼業も含めた多様な農業の担手の確保
3 安心安全な就農環境の整備	インフラ整備 (小中学校跡地の活用+整備、ネット環境構築)



■班内で出された意見■

- ・高額な農業機械の更新に苦慮している。
- ・鳥獣被害を防止する防除ネットも更新時期にきている。
- ・ユズを中心に安定した収入を確保することが大前提。
- ・地域の担手が減少しているので、地区外からの入作が必要。
- ・農地の維持管理（草刈や消毒など）を受託してくれる組織が必要。既存農業法人の閑散期に手が借りれないかと思うが、今ではどの法人も年中忙しい模様。
- ・移住対策としてブロードバンド整備に取り組んでほしい。田舎暮らしにあこがれる人でも、最低限のインフラを求めている。
- ・入河内地区は他地区に比べても耕作放棄地が少ない。担い手の意識が高いと感じている。
- ・災害時のライフラインを確保しておく。
- ・旧小中学校施設を活用する。（校庭へのヘリポート整備や宿泊施設等）
- ・農地までの動線整備。市道の補修にも取り組んでもらいたい。
- ・基盤整備により農地を大きくしたい。
- ・作業の効率化（時間短縮）に取り組みたい。
- ・お茶も衰退気味。お茶工場の機械も限界に近く、故障すればお茶はやめざるを得ない。
- ・あと10年もすれば稲作も立ち行かなくなる。酒米の単価も上がらないので同じ状況。